

りべら (Libella) はラテン語でトンボの意味です。あおぞら財団はトンボが飛び交うまちの再生を願って活動しています。

りべら

2018.6

148

号

トラックに絵を描こう!にしよどぎわいイベント(主催:西淀川区地域振興会)でカラフルなトラックができあがりました。もと歌島橋/バスターミナルにて。(2018.4.22)

協力・撮影:アトリエヤマダ
トラック協力:エコ・リサイクル・マツイ(株)

りべら
2018.6
148
号

発行所:公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団)
〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1あおぞらビル4階



特集:自転車のもつ可能性

～だれもが自由に移動できるように～

乗ってみよう!2人乗りのタンデム自転車…1

選択肢が一つ増えることで生活がこんなに豊かになる…3

障がいのある人への自転車教育～その意義と可能性～ 小西琢也…5

西淀川の道路と環境～西淀川の交通環境はよくなっている?…7

ホンマにえんかいな? 神戸製鋼さん…9

忙中一筆 もっと遠くへ!～タンデム自転車のある日常～小山結美さん…10

西淀川記憶あつめ隊 藤木 昇さん…11

ぶらりとゆるりと西淀川めぐり…12

東北の被災地に寄付金を届けました…12



あおぞらフォトギャラリー



環境学習

3学期の小学5年生対象の公害の出前授業。今年も区内8校で実施しました。写真は歌島小学校での授業の様子(2018.2.28)



まちづくり

雨の中でも子どもたちは元気いっぱい。市民自転車学校プロジェクト(CCSP:事務局・自転車タウンづくりの会)で、子どもたちにキックバイク教室をおこないました。京都自転車マナーアップフェスタ/岡崎公園(2018.5.13)



まちづくり

一夜宮女祭がおごそかな雰囲気の中、行われました。このお祭りは風水害や悪疫を鎮めるための人身御供の伝説を神事として伝えるものです。/野里住吉神社(2018.02.20)

お知らせ

西淀川・公害と環境資料館(エコミュージズ)は環境教育促進法「体験の機会の場の認定」です

議員立法でつくられた環境教育促進法には、市民参加を促す制度が盛り込まれています。「体験の機会の場の認定」もその一つで、民間団体等が「その土地又は建物で提供する自然体験活動等の体験の機会の場について、都道府県知事の認定を受けることができる」と定められています。エコミュージズは2015年度から認定を受け、このたび2023年3月まで延長が認められました。この認定を受けてから、大阪市との懇談がよりスムーズに進んでいることを実感しています。公害の経験をより一層広く伝えられるように努力したいと思います。



あおぞら財団とは

1960年代から問題となった大気汚染公害によって、多くの人が健康被害を受けました。その責任を問う西淀川公害裁判(1978~1998)では公害患者が勝利しました。患者は「手渡したいのは青い空」を願い、裁判の和解金の一部を使って1996年にまちづくり組織・あおぞら財団を立ち上げました。まちづくり・資料館・環境学習・公害患者の保健・国際交流の事業を行い、持続可能な地域づくりに取り組んでいます。

〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1あおぞらビル4階
(TEL)06-6475-8885 (FAX)06-6478-5885
電子メール:webmaster@aozora.or.jp http://aozora.or.jp/

あおぞらビル

[1F]地域交流スペース「あおぞらイコバ」
会議、ギャラリー、コンサート、上映会などにご利用いただけます。
午前:1,000円/午後:1,300円/夜間:1,300円/全日:3,000円
[5F]西淀川・公害と環境資料館(エコミュージズ)
西淀川公害や環境について、地域の歴史などが知りたい人はぜひお越しください。【環境教育等促進法にかかる「体験の機会の場」認定施設】
開館日 月曜日と金曜日(10:00~17:00)/要事前電話予約
●いずれも、予約・お問い合わせは4F事務所へ

会員・寄附募集

あおぞら財団への寄附や賛助会費は、税制上の優遇措置があります。
●賛助会員 会員の方には機関紙「りべら」などをお送りします。
【年会費】個人:年一口5,000円、学生:年一口2,000円、法人・団体:年一口10,000円
●会費・寄附の振込先
*郵便振替口座 00960-9-124893 加入者名:あおぞら財団
*三菱東京UFJ銀行 歌島橋支店 普通 3764689
口座名義:あおぞら財団賛助会員

CYCLING COURSE

近場のおすすめ
サイクリングコース



大野川緑陰道路



大阪北港マリーナ。
ヨットがたくさん係留されています。



舞洲にわたったら、
舞洲緑道を走ってみよう。

北港・舞洲ルート(往復:約25キロ)

まずは乗ってみるのが、てっとり早い。あおぞら財団事務所前にある自転車歩行者専用道路「大野川緑陰道路」で練習したら、サイクリングにでかけてみよう。

自転車・歩行者専用の「大野川緑陰道路」。元は川なので、幹線道路との交差部分は橋の下をくぐりぬけられ、信号待ちしなくてOK。



新淀川にかかる伝法大橋。
川の風、並走する電車を感
じて走れば心地よい。



高潮対策の伝法水門

淀川の左岸堤防沿い。
広々とした川が横を走ります。

交通ルール
道路交通法上、タンDEM自転車は「普通自転車以外の自転車」に該当する軽車両です。歩道と車道の区別のあるところでは車道を通行し、車道の左側端に沿って通行しましょう。



乗ってみよう!
2人乗りの
タンDEM自転車

特集

自転車のもつ可能性

「だれもが自由に移動できるように」

画期的な移動ツール

「風が気持ちいい」とみんなを笑顔にするタンDEM自転車は、本当に魅力的な乗り物です。複数のサドルとペダルがあり、複数人でこぐことのできるタンDEM自転車。ハンドルやブレーキは前の席の人が操作するので、後ろの席ながら、視覚障がい者、知的障がい者、足腰の弱い人も一緒に自転車をごくごぐことができます。自転車に乗りたくても乗れなかった人にとって、これは、画期的なツールなのです。

なぜ、あおぞら財団でタンDEM自転車?

自動車交通量が多く、大気汚染が常々問題となってきた大阪・西淀川区では、「自動車よりも自転車利用を促進しよう」と、あおぞら財団の活動として、「自転車まちづくり」に取り組んできました。その中で、視覚障がいのある人からの「私も自転車に乗ってみたい」という言葉をきっかけに、障がいのある人も乗れるタンDEM自転車に着目しました。この自転車の活用を広げること、自動車交通量を減らすだけではなく、より多くの人の移動の自由を可能にしていきたいことをめざしています。

タンDEM自転車のレンタルをしています



一台 1,000円/回
予約:06-6475-8885
貸出場所:
あおぞらビル1階
大阪市西淀川区千舟1-1-1

※講師派遣、ツアーガイドもおこなっています。詳しくはお問合せください。

ただいま20府県で一般道の走行が可能。 ますます広がる輪

残念ながら、この自転車は、全国どこでも乗れるわけではありません。現在、一般道での走行が可能なのは、20府県です(2018年6月時点)。大阪府内では、あおぞら財団が事務局をつとめる「大阪でタンDEM自転車を楽しむ会」で要望書を提出し、

府の交通規則が改正になり、2016年8月から一般道での走行が解禁になりました。今、どんどん解禁になる流れができており、最近、近畿では滋賀で解禁になりました。全国どこでも走れるようになる日はそう遠くないと思います。乗りたい人、ニーズを持つ人が声をあげていくことが一番です。🔔

移動手段で最も身近な乗り物である「自転車」。いろんな人のいろんなニーズにあう自転車があったら、みんなの移動の自由が広がっていく。「どんな使い方があるの?」「そのために必要なことは?」自転車まちづくりに取り組むあおぞら財団ならではの「自転車の可能性」をお届けします。



自転車のもつ可能性

～だれもが自由に移動できるように～

放課後等デイサービスとは、障がいのある学齢期の児童が学校の授業終了後や学校のお休みの日に通うことのできる福祉サービスです。大阪生野区にある「じゃがいもくらぶ」では、視覚障がい、知的障がい、発達障がい、身体障がいなどのある小学生から高校生まで総勢18人が通っています。現在、2台のタンDEM自転車を子どもたちの送迎やリクリエーションに活用しています。

車両ではなく、タンDEM自転車を送迎に

送迎に車両を使うデイサービスが多い中、「じゃがいもくらぶ」では「車だと、ハコからハコへの移動となり、自分の地域がわからなくなってしまう。



「しまなみ海道」走行中

自分の地域を知ってほしい」との思いから、タンDEM自転車を移動の手段に取り入れた。成長するにつれ、自転車に乗れる子どもと、乗れない子どもでも行動範囲と手段が変わってきます。みんなで一緒に移動するとき、自転車に乗れない子どもはいつも、バスか電車という選択肢しかありませんでした。タンDEM自転車の購入にあたっては、スタッフと保護者が一緒にその可能性や危険性などを話し合ってきました。限られた予算の中で、全員の子どもたちが使えるわけではない自転車を購入するには、みんなの賛同が必要です。結



看板を出してタンDEM自転車購入のお礼

いう小学生。最初はこわがっていたけど、今はしっかりとこいでいる高校生。周りの友

果「じゃがいもくらぶ」では、助成金や古紙・アルミ缶回収などの地域からの応援によって集めた資金で、2017年6月にタンDEM自転車を購入しました。

おもしろくって、自由!!

「今となっては、タンDEM自転車が無かった時は、どうしてたんだらう?」とスタッフが言うぐらい、生活になじんでいるようです。スタッフが子どもたちの学校に迎えに行き、一緒に「じゃがいもくらぶ」まで自転車をこぎます。「こげるから、とってもおもしろい」と

安全なルートを選んで走る

街中は狭い道もあれば、交通量の多い道もあります。スタッフたちは、どのルートが安全か、走行ルートをしっかり選んで走っているとのこと。また、タンDEM自転車の後ろに乗ってしまうと、歩いているときよりも交通ルールにかまわなくなってしまう。それを避けるために、あえて、部分的に自転車を押して歩き、子どもたちが信号や標識の見方など、交通ルールを体感的に覚えられるようにもしているそうです。

生活が豊かに

「じゃがいもくらぶ」では、送迎だけでなく、遠方の公園に遊びに行くときにもタンDEM自転車を利用し



スタッフが作成した周辺マップ。幅の狭い道など注意事項が書いてあります。



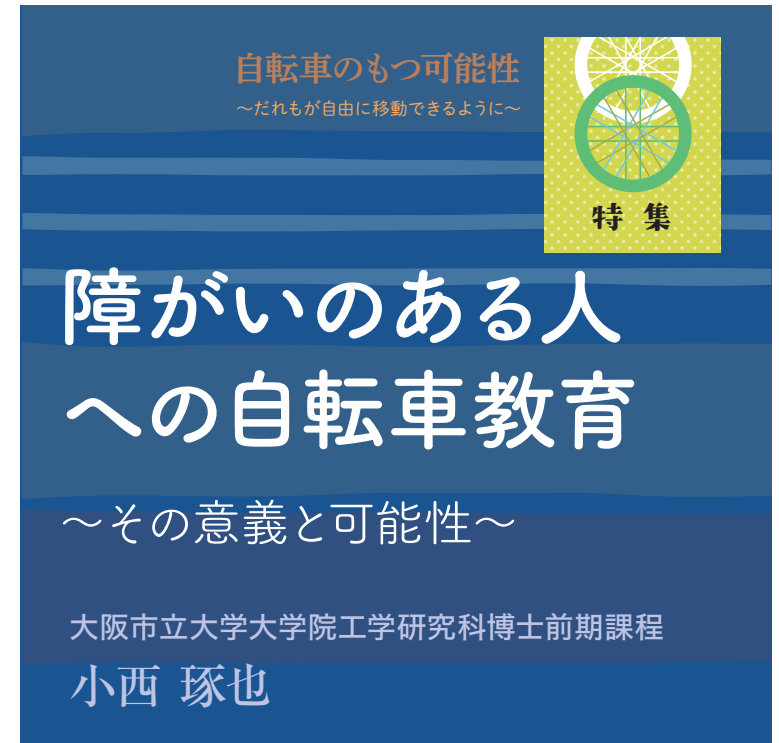
送迎のようす。生野区では見慣れた景色になりつつある(?)

「放課後等デイサービス じゃがいもくらぶ」でタンDEM自転車活躍中



ています。また、昨年の11月には、尾道から今治までの「しまなみ海道」をタンDEM自転車で約70キロ走行したメンバーもいます。「選択肢が一つ増えることで生活がこんなに豊かになる。そのことを学んだ」とスタッフ。「自転車は子どもの自立を助けるツール」と言われます。

自転車で行くことを通じて他者とのコミュニケーションの方法を学び、社会性を身につける。「じゃがいもくらぶ」では毎日の生活の中で、タンDEM自転車がいきいきとその役割を果たしています。(2018年5月11日取材) 錦



障がいのある人への自転車教育

～その意義と可能性～

大阪市立大学大学院工学研究科博士前期課程
小西 琢也

1. 国内外の障がい者自転車教育事情

手軽に乗ることができ、自転車は、国内外を問わず広く用いられている交通手段であるが、国内では、身体障がい者や視覚障がい者、発達障がい者や知的障がい者等にとって、自転車は日常的な交通手段の一つとして認識されていない



写真2 イベントに集まった大勢の参加者とスタッフ

加者がどこまでついてこられるだろうかという不安はあった。しかし、いざ始めると参加者の楽しそうな姿と必死にチャレンジする姿にそんな不安は吹き飛んでいた。これは主催者、参加者、ボランティアが一体となってイベントを楽しくしようとした成果であると思う。何事にも物事を動かすには熱意が必要であり、その熱意によって教育プログラムの知見が積み重ねられることで、障がい者の日常的な自転車利用の可能性が広がっていくと思われる。

者の中に生まれる。イベント後のアンケート結果では、トレーニングを受けた後ならば自転車以外でもよいと考える参加者と保護者が50%（レジャー目的に限定した人を含めると90%）となり、障がい者の自転車利用の可能性が広がったといえる。（図1）

3. 障がい者自転車教育を終えた感想

これまでいくつかの自転車体験イベントをスタッフとして経験してきたが、教育という側面を強くもつイベントで、参



写真3 1人乗りチャレンジ

されていないのが現状である。

2. 国内での障がい者自転車教育の実践例

以上の背景のもと、昨年11月に愛媛県松山市において、現地で障がい者の活動をサポートするNONちゃんクラブ（代表：津賀薫）、愛媛県、愛媛県警、地元サイクリングクラブのボランティアの協力のもと、障がい児を対象とした自転車教室を開催した。自転車体験を含むイベントには、22名の障がい者が集まった。身体、視覚、知的、発達障がいの大きく3つのグ



写真1 発達障がいグループの自転車教育実施風景

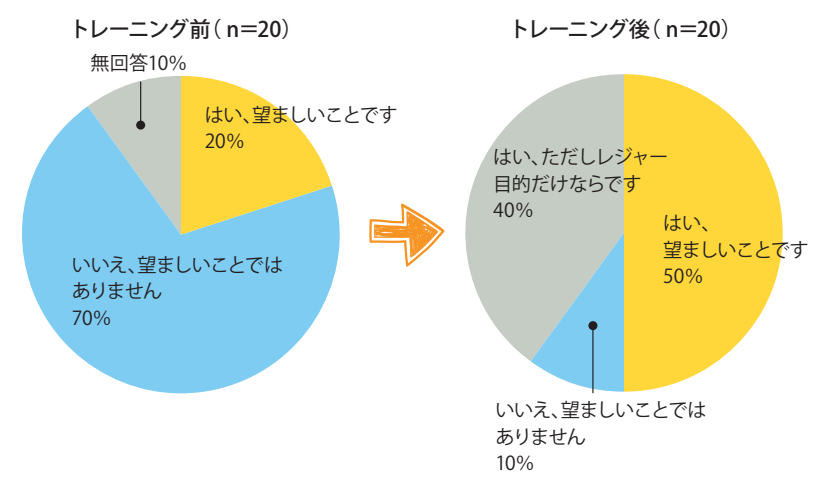
ループに分かれ、基本的な自転車に関する交通ルール等とともに、それぞれの障がい特性に応じ、次のようなプログラムを体験した。

身体障がい者は、ハンドサイクル、タンDEM自転車、イス乗車式の2人乗り自転車の3種類を用いて、シャボン玉たたきやスラロームや急ブレーキなどを体験した。

視覚障がい者は、タンDEM自転車をを用いて、まっすぐ走る一本橋での練習や片手運転、流鏝馬風タイヤ投げなどを行った。

発達障がい者は、タンDEM自転車でパイロットとのコミュニケーションセッションを取りながら片手運転を行った後、ペダルなし自転車を片手運転やスラローム、周囲への注意が必要な場所取りゲームなど

図1 トレーニング前後における自転車外出することの望ましさ



を実施した。障がい者は、一般的に自転車には乗れないと思われがちだが、

子どもも乗せ自転車、安全に楽しく乗りましょう!

自転車は左側通行が基本!

西淀川区内で走行調査をしたところ、2/3の人が自転車で右側通行をしていました。左側通行は車から見えやすいので事故のリスクも少なく、また、右側通行していると車や自転車と正面衝突する危険性も。

歩道は歩行者が優先!

歩道をすり抜けていく自転車、とっても危ないですね。自転車は車道走行が基本。歩道を通るときは車道側を通り、歩行者が多い場所では押し歩きをしましょう。

子どもを自転車に乗せたまま離れない

最近の子ども乗せ自転車のスタンドは安定しているので、ついつい子どもを自転車に乗せたまま自転車から離れてしまうなんてことも…。子どもが乗ったまま自転車が転倒すると、大怪我につながります。わずかな時間でも、必ず子どもを降ろしましょう。

子どもにヘルメットを

子どものヘルメットの着用は努力義務。自転車事故の死因は「頭部」の損傷が63%。ヘルメットをかぶせることで重大な事故から守れます。子どもに自分のお気に入りのヘルメットを選んでもらって、ヘルメットをかぶるのを当たり前にしていきましょう。

子ども乗せ自転車の冊子を作りました! 頒布しています。

調査、冊子の作成は、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団のECOMO交通バリアフリー助成を受けて行いました。



西淀川の交通環境はよくなっている？

西淀川の公害

かつての西淀川は大気汚染の街として有名でした。大阪湾沿岸の工場やディーゼル車により、大気汚染が深刻化し、多くの人々がぜんそくなどの健康被害を受けました。1960年代は、昼間でも自動車はライトをつけなければならず、それでも30メートル先までしか見えなかったと聞きます。その後、西淀川大気汚染公害訴訟や西淀川道路連絡会（P8）が開催され、それを受けて国の自動車の排ガス規制が強化されました。

空気は徐々にきれいになり

今の西淀川区の空気はどのくらいきれいになってきているのでしょうか？二酸化窒素、PM2.5（微小粒子状物質）の濃度のいずれもが減少傾向にあります（図1）。

PM2.5は呼吸器系・循環器系の健康影響が大きいとされており、西淀川区では全国に先駆けて常時観測が始まりました。観測が始まってからずっと環境基準を大きく上回っていましたが、2016年度は環境基準値を下回った測定局がありました。

大型車交通量は増加傾向

その一方で、大気汚染の主な原因である西淀川を通過する大型車交通量は、増加傾向にあります。国道43号の大型車交通量は減少傾向にありますが、阪神高速湾岸線、神戸線の大型車交通量は増加しつつあります（図2）。これは、環境ロードプライシング（RP）※によってもたらされたものです。国道43号、阪神高速3号神戸線沿道の大型車

「人中心の交通環境をめざすには

西淀川の大気状況はよくなりました。その一方で、交通量もまだまだ多かったです。歌島橋交差点の横断歩道は撤去されたままであったりして、車中心の交通環境です。幸いなことに、西淀川には大野川緑陰道路という自然あふれる自転車歩行者道や便利な公共交通網があります。こういった環境を活かして、歩行者・自転車道のネットワーク化を図ったり、公共交通の利用促進をするなど、「人中心の交通体系を目指していくべきではないか」と思います。あおぞら財団の自転車を中心とした交通まちづくりの取り組みはそうした思いのもと、行っています。



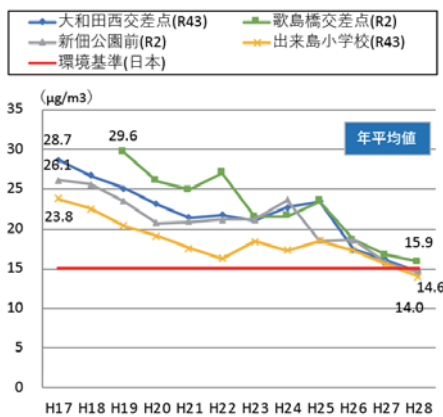
西淀川は車中心の交通体系。これで本当か？

私が西淀川区に初めて来たときに驚いたのが、歌島橋交差点です。渋滞を緩和するために、2009年に地上にあつ

た横断歩道が撤去されてしまったのです。人や自転車は薄暗い地下を通らされ、一方で車は地上をスムーズに通っています。西淀川は車中心の街という印象を抱きました。

※ 本来のロードプライシングは路線で通行料に特定区域の進入または特定の道路の通行に対し課金を行うことによって交通量の抑制を行う交通施策だが、環境RPでは湾岸線の通行料金が割引かれている。欧州では、通行料金は公共交通の拡充などに使われている。

図1 西淀川区内のPM2.5の推移



原告団代表として21年西淀川で道路連絡会に参加している森脇さんに、お話をうかがいました。

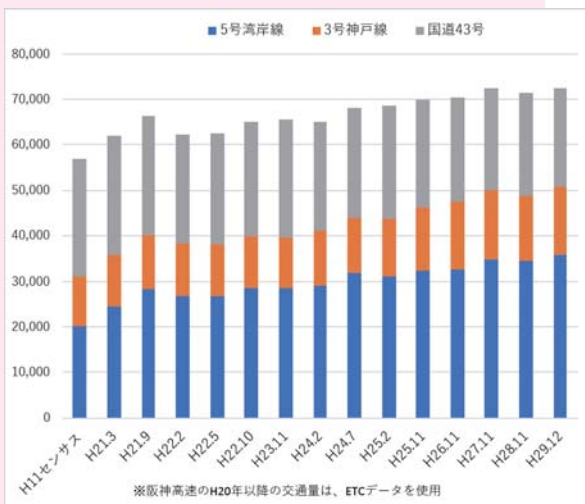
公害被害者がのぞむ交通まちづくり

-見えない大気汚染は残っている-

西淀川道路連絡会は今年で21回目を迎えました。西淀川公害患者と家族の会は、裁判闘争の成果を公害のないまちづくりとして発展させようと「西淀川再生プラン」を提案しました。このプランにはロードプライシングやPM2.5など先進的な交通対策が含まれています。見える大気はきれいになりました。工場からの煙は黒や黄色ですが、そうした煙の対策はすすみました。今問題として残っている自動車から出るNO₂やPM2.5は目に見えません。市民は公害は終わったと誤解します。患者だけが「公害」と騒いでいるようにみえてしまうが、みんなが諦めたらよくなっていきません。人よりも車が大切という発想が問題。環境ロードプライシングで国道43号の交通量は減っているものの、湾岸線に大型車を流して汚染を拡散しているのではないかと気になっています。「西淀川再生プラン」は患者会が描いた夢。少しずつ実現しています。行政、企業、市民の協働によって、西淀川はきれいになりました。今後は、車中心ではない生活者の視点をいれた道路施策をしてほしいと願っています。

西淀川公害訴訟原告団長 森脇 君雄

図2 淀川断面の大型車交通量



21年間、西淀川の道路環境について話し合ってきた道路連絡会

初めて道路を取り上げた大気汚染裁判が西淀川公害裁判です。国と阪神高速道路公団（現・株式会社）の賠償責任を認める大阪地裁判決の後、西淀川道路連絡会の設置、PM2.5の測定などを条件とする和解が成立しました。原告からは、解決金をもらわずにその分で道路対策を強化して、環境をよくしてほしいという願いがありました。道路連絡会は年に1回実施されており、歌島橋交差点、環境RP等、西淀川の道路環境改善のための施策について検討しています。環境をよくしていくためには生活者の視点をもった市民の意見を政策決定の場に反映させることが大事ですが、道路政策に市民の意見を取り入れる場はあまりありません。道路環境を改善していくのは一朝一夕にはできませんが、市民と道路管理者が対等な立場で話し合いができる場として、よりよい環境を目指して道路連絡会を継続しています。

ホンマにええんかいな？ 神戸製鋼さん

～神戸製鋼所・石炭火力発電所計画～



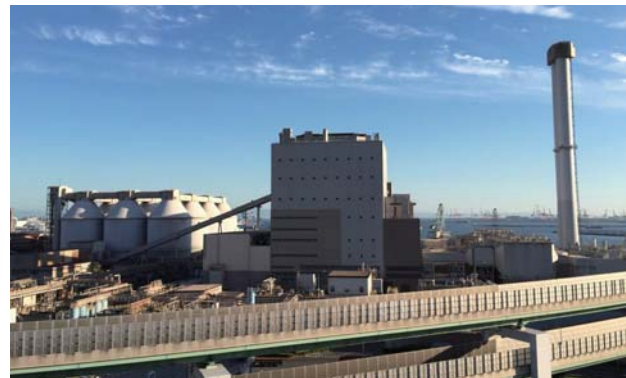
予定地半径3km周辺に小学校が多数あります。(※1HPより)

神戸のまちなかに石炭火力 発電所建設計画

西淀川大気汚染公害訴訟で和解(1995年)に応じた企業である神戸製鋼所により、神戸市灘区に2022年完成予定となる石炭火力発電所が建設されようとしています。同計画では、65万kW発電機2基を増設し、既設2基と合わせて、270万kWの発電となります。予定地は国道43号・阪神高速3

号神戸線の浜側の地域です。かつて深刻な大気汚染にあった地域で、周辺には400m圏内に住宅地、1km以内に保育園、小学校、中学校が立地しており、今も大気汚染による患者さんが生活されています。振り返れば、神戸市南部を含む阪神間は深刻な大気汚染に悩まされ続けてきた地域であり、30年以上にわたり、環境改善の努力が行われてきました。市民の健康・暮らしを守るために、

工場などの固定発生源にとどまらず、自動車などの移動発生源に対しても厳しい規制(H15・10「大型車流入車規制等」)や施策(環境ロードプライシング・H13・11「阪神高速5号湾岸線の貨物車などの料金を割引」)を行ってきた結果、近年は大気環境の改善が進みました。そうした中で、同石炭火力発電計画について環境影響評価制度(アセスメント)の手続きがとられ、大気汚染(NOx、SOx、PM2.5、水銀などの重金属等)、地球温暖化対策(CO2)、莫大な温排水、景観破壊などの問題を指摘され、公聴会や意見書では多くの市民からの反対や懸念の声が寄せられました。2017年12月には石炭火力発電所の計画見直しを求めて、公害調停も提起されました。



データ改ざん問題もあったけど

同手続きが終わりに近づいた2017年10月には、神戸製鋼所のデータ改ざん問題が発覚しました。6月5日には神戸製鋼本社にデータ改ざん問題で強制捜査。同手続きは延期され、改めてデータの検証が行われました。

製鋼さん」と思います。企業の利益優先だけで進められるのであれば、高度経済成長期の公害発生の構図と何ら変わることがないのではないのでしょうか。余計なお世話でしょうか、そうした企業はこれから生き残っていくのでしょうか？

もうええわ、他所にするわ

これまでは地域で決められた電力会社としか契約できなかった電気。しかし、電力の小売全面自由化(2016年4月)に伴い、市民も電力購入先を選べるようになり、他の買い物と同じように、自分が気に入らなければ「もうええわ、他所にするわ」と言える時代になりました。あおぞら財団の事務所が入っているビルも、関西電力(神戸製鋼所で作られた電気は関西電力に売電されます)から他所に変更しました。これを読んでいただいた皆さんも、自分が使っている電気の出所について思いを巡らせてみてください。【藤】

参考：
※1「神戸の石炭火力発電を考える会」<https://kobesekitan.jimdo.com/>
※2「株式会社神戸製鋼所」http://www.kobelco.co.jp/electric_power/
※3「パワーシフトキャンペーン」<http://power-shift.org/>

忙中 筆

もつと遠くへ！ タンデム自転車のある日常



琵琶湖の周りを約90キロ走りました

私がおおぞら財団に初めて来させてもらったのは、4年ほど前、全盲の方が自転車に乗りたいと言われたからでした。タンデムをお借りし、大野川緑陰道路を走りました。当時大阪の公道でタンデム自転車は走れませんが、「大阪でタンデム自転車を楽しむ会」と財団の皆様の働きかけで、平成28年の夏、解禁されました。

私がおおぞら財団に初めて来させてもらったのは、4年ほど前、全盲の方が自転車に乗りたいと言われたからでした。タンデムをお借りし、大野川緑陰道路を走りました。当時大阪の公道でタンデム自転車は走れませんが、「大阪でタンデム自転車を楽しむ会」と財団の皆様の働きかけで、平成28年の夏、解禁されました。

琵琶湖の周りを約90キロを、昼休憩含め約6時間で走りました。私は、一人乗りのロードバイクにも乗ります。100キロを超える距離を乗る機会も増えてきました。ただ、長距離になればなるほど、精神力、集中力等の面で「一人で長距離を走り続けるのは難しい」と感じることもあり、身近に人が



小山 結美(こやま ゆみ)
プロフィール: 合同会社エール(障害福祉サービス・相談支援等事業)代表
大阪府出身 箕面市在住

居てくれるから、一人では出来ないことをやり遂げることができる。タンデム自転車については、自分の中で方向性を持っていません。その時々、乗りたいと言ってくれる身近な方と、進む先を見つけていきたいと思っています。



タンデム自転車に乗って、にっこり

シリーズ 西淀川記憶あつめ隊

Vol.23



藤木 昇 さん

出来島の地域活動協議会会長を務めておられる藤木昇さんからお話を伺いました。

2018年4月27日
聞き取り

◆シャコエビがたくさんとれた

藤木さんは出来島の隣の太野で生まれ育ちました。1949年のベビーブーム世代です。おじいさんは漁師で、「シャコエビやサルボウガイが、めいっばいとれてたから、太野のまちは貝殻がいっぱいあったよ」とのこと。当時の太野には商店がた

◆少年野球のコーチを引き受ける

足りたそう。小学校・中学校の頃は、夕方になると西向きの風になって、工場から白い煙、黄色い煙が流れてきて、「喉を突くような感じ」になって、外に出られなかったのだそうです。お父さんは淀川製鋼に勤務していました。藤木さんは高校卒業後、西淀川郵便局で働きま

20代で転職して、天満橋のOMビルで婦人服の営業をしていましたが、大川で行われていた出初め式を見て、「消防隊員も面白そう」と思い、大阪市の消防士試験を受けて合格。西淀川や北区、此花区で勤務し、定年まで勤め上げます。個の消防署に通勤している時に、出来



子ども会で出店した御堂筋パレード

島で建売住宅が売り出されているのを見て、出来島に引っ越そうと考え、1977年に引っ越してきました。地域のことに関わりはじめたのは、35歳くらいの時。息子さんが出来島小学校の4年生で、地域の野球チームに入った際に、「遊ぶ」というと草野球だった藤木さんはコーチを引き受けました。10年ほど引退し、子ども会の副会長になっていった時に、サッカーチームが巻き起こります。出来島小学校の校長先生から地域でサッカー部を創ることが提案され、子ども会と呼びかけたところ40人も集まりました。藤

球も面倒を見ることになり、一日6か所試合をしている会場を渡り歩くなど、「1人では身体が持たない」状態に。55歳で野球とサッカーの指導は後輩に譲り、子ども会の活動に専念するようになりました。「出来島の子どもたちはよくみ



大和田公園でサッカーの指導

◆ええまち出来島

定年後は町会長を引き受け、2年後に連合町会長を務めることになりました。「寝ても覚めている」という藤木さん。インタビュをした日もコミュニケーション会館と出来島会館での行事が立て込んでおり、いろんな調整で忙しいのでした。出来島は多文化共生にも積極的に取り組

んでおり、南米系の住民が増えている中、公園でのサッカーや、マナーなど文化の違いからいろいろ問題が起きています。が、一つ一つ対話をして解決している様子が見られました。「西淀川のええところって言われても、ずっとおるからわからへんけど、出来島は町会の役員が協力的。いろんな行事をしていけるけれど参加率が高くて、やりがいがある地域。地域を自分たちで作ってきた」と笑顔で答えてくれました。「ええまち、ちやいまっか」といった一言が、街を明るくしているように感じました。●

野里飯店

移転して住所は姫里になりましたが、店名は変わらず「野里飯店」です。

「ラーメン&炒飯(or天津飯)」セットは、



「単品と同じ大きさ？」というボリュームで800円！ガッツリ食べたい人も絶対満足できる味と量です。一押しは餃子！ムチムチに具がつまっています。(5ヶ250円)

息子さんが厨房、お母さんが接客と、親子二代で切り盛りされています。以前はお寿司屋さんだった店舗に「中華料理」「ラーメン」と書かれた赤い暖簾と提灯が目印です！



所 西淀川区姫里1-13-35-101
休 月
営 2:00~14:00、17:00~22:00
☎ 06-6471-2369

中華料理 琴寿

プラザ歌島の1階、ピンクのお花の看板が目印です。マスターは歌小・歌中出身生粋の地元人で、腕を磨いての2年前にお店をオープンしました。お店に入るとお連れ合いの琴さんが明るい笑顔で迎えてくれます。日替わりランチ800円(3品+スープ+ごはん)も美味しいですが、夜もお勧め。紹興酒もあります。子連れにも優しいアットホームなお店です。



burari gururi
第23回 ぶらりとぐるりと 西淀川めぐり
今日は中華!!
時々唐突に「麻婆豆腐が食べたい!」なんて気分になりませんか?今回は定番料理が美味しくコストパフォーマンスの良い中華料理店のご紹介です。●



所 西淀川区歌島3-8-1 プラザ歌島A棟
休 木
営 11:00~14:00、17:00~20:30
☎ 06-7182-2622
(イラスト:とりやまひろこ)

東北の被災地に寄付金を届けました

三陸ひとつなぎ自然学校からメッセージ
今年の2、3月は「さんつなハウス」を子どもたちにとって「である」「くつろげる」「たのしい」「だいたいな」居場所にするために「さんつなハウスリノベーション企画」を実施しました。その第一弾として行なったのが防寒対策です。昔ながらの家の作りため、とても寒く課題に感じておりましたのでまずはそこからスタートしました。今回、みなさまのご寄付は、床材や断熱材として薪ストーブ代として使わせていただきました。

あおぞら財団では、東日本大震災支援活動の寄付を募ってきました。震災直後には、被災地へ車両を送りましたが、この度、2018年3月までの寄付金123、267円を「三陸ひとつなぎ自然学校(愛称:さんつな)」に寄付しました。さんつなは、仮設住宅など限られた環境でも子どもたちが子どもらしく生活できるよう、「放課後子ども教室」や、子どもが企画・運営する「かまっこまつり」をコーディネートし、2016年度には「地域学校協働活動」で文部科学大臣表彰を受けています。



ありがとうございます

(2017年12月～2018年3月 敬称略・順不同)

●入会

合同会社城山
高橋 勝利
株式会社ミナコレ
戸田 光一
松本 嘉子
河野 茂穂
内田 寛
長瀬 文雄

●お助けボランティア

藤本 真衣
田島 陸弥
鶴 実折
渡辺 礼音
吉田 秀樹
左成 志朗
長洲 智子

●寄附・寄贈者

福田 珠己
中島 晃
湯本 浩之
Re Shop KANAU
清水 万由子
山崎スチール株式会社
中村 昌史
井上 善雄
浅井 真二
村田 稔
式地 清子
伊藤 卓次
パシフィックコンサルタンツ株式会社
青木 洋介
水俣市立水俣病資料館
鹿野 都子
小田 康德
奥田 みのり
高田 研
四日市再生「公害市民塾」

緑道散歩

西淀川区区内を貫く全長3.8kmの大野川緑陰道路。区民ここの緑道の風景を紹介します。



「矢倉海岸・緑陰道路探鳥会」に、子どもの参加が少し増えています。矢倉海岸に向かうまでの緑陰道路は鳥以外にもいろんな楽しみがあります。福に近いこの辺りの樹々は高く、まるで林のようです。

スタッフツイッター 編集後記

最近の子どもたちは、ペダルの無いキックバイクで自転車に乗る練習をしていますね。私の時代(?)は、コマ付きに乗っていました。初めてコマをはずして、公園で練習したときに、木に激突したのを覚えています。目をつむって、運転できるかを試して、田んぼに落ちたこともあります。子どもの頃の思い出です。

りべら No.148 2018年6月号(季刊1日、年4回発行)

発行所:公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団)
編集人:鎌山 善理子
〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1あおぞらビル4階
TEL 06-6475-8885 FAX 06-6478-5885
http://aозora.or.jp/ webmaster@aозora.or.jp
デザイン:(株)バード・デザインハウス
会員の購読料は会費に含まれています。
本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

あおぞら財団
Facebookページ
「いいね!」を
押してくださいね。



あおぞら財団
The Aozora Foundation
公益財団法人公害地域再生センター

新スタッフ紹介

奥野 久美子(おくの くみこ)



いつも通りかかる道でふと目にした可愛い看板。「何あれは?!めちゃくちゃ気になる!!」と思ったのがくじらカフェとの出会いでした。どうしてもあそこで働いてみたい!と思っていたら不思議なご縁でカフェスタッフとして働かせていただく事になりました。

飲食業はほとんど未経験なわたしです

が、手作りのぬくもりたっぷりなお店で美味しいランチやパン、スイーツを元気に真心込めて提供させていただきたいと思えます。お客様に「また来たいな、居心地いいな」と思っただけのよう努めてまいります。よろしくお願致します。

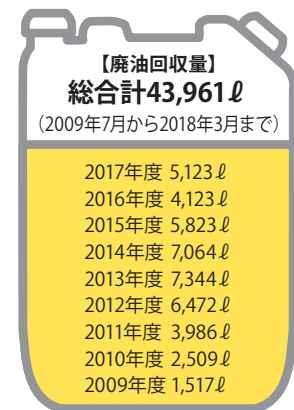
「りべら」に広告を掲載しませんか?

年4回(季刊)発行の「りべら」は、あおぞら財団会員様をはじめ、西淀川の公共施設・店舗など、様々なスポットに配布しています。あおぞら財団の活動にご賛同いただける方からの広告の掲載を募集中です。
【りべら広告掲載費】

中面1/9頁:1万円/回、中面1/3頁:3万円/回、中面 全面:9万円/回
※お問合せ先:あおぞら財団まで TEL06-6475-8885

西淀川菜の花プロジェクト

～エコでつながる西淀川～



現在西淀川区内外約50箇所で、廃油を回収しています。回収団体募集中。

エコでつながる
西淀川推進協議会
事務局:
浜田化学株式会社西淀川事務所
06-6732-9658



あおぞら苑



2006年10月1日にデイサービスセンターあおぞら苑は産声を上げました。西淀川公害裁判で四半世紀命をかけて闘った患者さんや家族のみなさまの思いが、ひとつの形になったのがデイサービスセンターあおぞら苑です。公害患者さんも高齢になり日々の生活を援助するために、また地域のみなさまが誰でも利用でき、「西淀川に住み続けて良かった。」と思えるようにとの思いがたくさん詰まった場所にしたいと思い設立しました。



あおぞら御膳



あおぞらの湯

【お問い合わせ】

TEL:06-6475-0111 FAX:06-6475-0114

URL:http://aозoraen.com/

運 営:社会福祉法人 あゆみ福祉会

◆あおぞら苑(事業所番号 2791000090)

〒555-0032 大阪市西淀川区大和田5丁目7番14号

開所曜日:月曜日～土曜日(祝日は開所) 利用人数:1日18人

◆あおぞら苑II(事業所番号 2771002173)

〒555-0031 大阪市西淀川区出来島1丁目2番4号

開所曜日:月曜日～土曜日(祝日は開所) 利用人数:1日25人

Hamada Kagaku

廃棄物でお困りなら
浜田化学のコンシェルジュに
お任せください



廃食用油
リサイクル
使い終わった廃食用油



食品残渣
リサイクル
加工中に発生した食品残渣



廃棄物
リサイクル
その他の廃棄物

お客様に最適なメニューをご提案いたします。

詳しくはホームページをご覧ください。

浜田化学 コンシェルジュ

検索

浜田化学株式会社 ☎06-6411-3457 <http://www.hamadakagaku.co.jp>

医療費の支払でお困りの方 相談下さい。「無料低額診療」実施中!

～「いのちの平等」をめざして～
差額室料をとらず、24時間365日 医療と介護

看護師
募集中!

- ・西淀病院
- ・のぞと診療所
- ・千北診療所
- ・ファミリークリニックあい
- ・姫島診療所
- ・ファミリークリニックなごみ
- ・介護老人保健施設よどの里
- ・在宅総合センターらくらく
- ・社会医学研究所

WHO認証

「地域健康増進支援事業所」
認証施設



一般財団法人淀川勤労者厚生協会 TEL 06-6471-0496 URL www.yodokyo.or.jp